

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第33号—

令和4年12月5日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

人権集会での「人権について」の話

学校では12月4日(日)から10日(土)の1週間を「人権週間」と定め、様々な取組を行って人権に対する意識を高めています。1日(木)には人権集会を実施し、下記のような校長講話を行いました。

皆さんは、「人を笑顔にする算数」があることを知っていますか？今日は、「人を笑顔にする算数」つまり「思いやり算数」を紹介します。「思いやり算数」は次のような内容です。

「+(たす)は、たすけあう」 「-(ひく)は、ひきうける」

「×(かける)は、声をかける」 「÷(わる)は、わけあう」

「思いやり算数」をもっと詳しくみてみると、

思いやり算数	どうなる	具体的に言うと
「+(たす)」は、 たすける	助け合うと、 大きな力になる。	一人一人の力は小さいものであっても、一人よりも二人、二人よりも三人と、お互いに力を合わせ、助け合うことで、より大きな力が発揮される。
「-(ひく)」は、 ひきうける	引き受ける と、喜びが生まれる。	困っている人のちょっとした仕事を引き受けてあげると、相手は喜ぶ。相手の喜びが感じられれば、引き受けた人も喜ぶ。
「×(かける)」は、 声をかける	声をかけると、心が通じ合える。	どんな時にも声をかけ合うことは大切である。あいさつを含め、優しい言葉や励ましの言葉をかけることによって、互いの心がひとつになれる。
「÷(わる)」は、 わけあう	分け合うと、 笑顔が返ってくる。	楽しいことを分け合えば、楽しさは何倍も大きくなる。苦しいことを分け合えば、苦しさはどんどん減っていく。分け合い、分かち合えば、相手の心が和み、必ず相手から笑顔が返ってくる。

「助け合う」、「引き受ける」、「声をかける」、「分け合う」、この4つの『おもいやり算数』を行動に移すと、**「みんな笑顔」という大きな答えにつながる**のです。

風力発電事業建設工事見学

11月22日に現在進められている風力発電事業に係る建設工事現場を、全校児童で見学に行きました。中津良の資材置き場に横たわる風力発電の資材を目にしている子供たちにとって、その巨大な資材が、どのように組み立てられるのか大きな関心がありました。工事現場では、吉住建設の吉住重輝さんや清水建設の方から説明を受け見学しました。見学を通して巨大大業に関わる人たちの苦労や工夫を知るとともに、国のエネルギー政策や環境問題についての理解が深まりました。

